

議員が地域を巡る

地区自慢

「吉田三区」

白水小学校4年生が毎年訪れる場所、「白川大水害記念碑」が吉田三区にあり、区長の宮田義久さんに案内いただきました。

災害があった昭和28年、区長（当時4歳）は70年以上昔の幼い頃にもかかわらず、鮮明に覚えている程恐ろしい経験であり、その後4～5年かけて復興していく様が、今では想像を絶する様子だった事を聞かせいただきました。

この記念碑には、災害で亡くなったこの地域の方全員の名前が記されており、その数は何処よりも多かったとの事でした。ただ、この復興には県外からの若い労働力が入る事で、地元の女性とご縁が繋がり後世の繁栄に寄与するという一面もあったそうです。また、白川の濁流に飲み込まれた建物は、家だけでなく神社もあり、記念碑はその役目も担っているのではないかと感じました。

この記念碑が多くの人々の目に触れ、災害で犠牲になった人々の供養と共に防災意識の向上となるよう想いをこめて、綺麗に管理されていました。



「黒川区」

数々の素晴らしい場所とそれらを大切に守り続ける黒川地区の皆さんを代表し、区長の古庄幸男さんに取材させていただきました。

地区自慢として初めに案内頂いたのは、弁財天神社。数鹿流ヶ滝の直上流の黒川に架かる橋のたもとに、祀られてありました。地震の被害が無かったとの事からも、「橋の守神」「外からの災害を防ぐ境界の守り」としての役割を果たされたのだと感じました。次に、地域の中心に祀られている「黒川神社」。地域のコミュニティの拠点となっており、8月終わりの祭りには、相撲や屋台で賑わうとのことでした。そして「日ヶ暮稲荷神社」は、年に一度訪れる場所とのお話でしたが、地震後石材で建てられた紅鳥居が出迎えてくれ、綺麗に整えられた空間と裏に流れる川が神秘的でした。そして、黒川地区だけでなく、立野地区やファームランドも支える「(せきめ)水源」には、芹がはびこっていて、豊かな自然「そのまま」が、そこにはありました。

魅力いっぱいの黒川地区。震災ミュージアムKIOKUも含め、ぜひ散策して頂きたい地域でした。

